

月刊 四万十町

地域おこし協力隊 だより

Community-Reactivating Cooperator Squad

協力隊の色とりどりの活動を伝えたいです。



中下 美和
Miwa Nakashita

窪川（本庁） 野地・家地川地区の地域づくり

四万十川で川漁体験

私の担当地域では、先月7月より地域の拠点となる集落活動センターをオープンしました。宿泊、体験、購買、と多機能な施設ですが、今後は川を使った体験メニューをより充実させていきたいと思っています。その一つに川漁体験を検討しているため、今年初めに遊漁券を購入してうなぎ漁に挑戦しました。うなぎ漁にもいくつか種類があり、それぞれに特徴があります。まず延縄漁とは、幹縄に一定間隔を開けながら枝縄を垂らす構造で、枝縄の先端にエサを付けて川に沈めます。エサにはうろこの少ない小魚のぶつ切りを付け、翌日早朝に回収に行きます。次に、コ



集落活動センターけやき



自分で捕ったうなぎで蒲焼き丼

ロバシ漁は木でできたコロバシと言われる筒の中にエサとなるミミズやカントロウを入れ、川に沈めておきます。延縄と違って針を飲み込んだり、糸に巻き付いたりして死んでしまう危険性がなく、綺麗な状態でうなぎを捕ることが出来ます。そして、川が増水して特に水が濁った夜は、ミミズやカントロウをエサにして竿で釣ることが出来ます。竿先に鈴をつけておくと、うなぎが掛かった時に音が鳴って分かりやすくなるため、かかるまでは竿を持たずに立てかけておくことも可能です。今後はうなぎ漁体験をはじめ、様々な体験メニューを地元の方々と一緒に開発していきたいと思っています。

窪川（本庁） 仁井田・影野地区の地域づくり

小学生も一緒にカフェのお手伝い

井上 佳奈
Kana Inoue



モーニングの食事

仁 井田のりん家では、地域の方々ボランティアで、月に一度モーニングを提供するカフェを開いています。地域交流の場を提供したいという思いから始まったカフェですが、さらに交流の幅を広げるため、最近では地域の子どもたちからもボランティアを募り、一緒に活動しています！

今までに、小学校1年生から5年生の女の子が参加してくれましたが、大人顔負けの仕事っぷりに、とても驚かされています。最初は緊張していてもすぐに仕事を覚え、受付・配膳・片付け・会計などを率先してやってくれます。空いた湯呑に自分で気づいて、お茶を注いでいる姿には、特に驚かされました。「楽しい



お皿を下げます



配膳の様子

き、活気が生まれました。今までカフェに来たことなかったお母さん方には、「ここの活動は楽しそう」と、興味を持ってもらうことができ、活動を知ってもらおう良いきっかけになったと思います。これらかも、一緒に活動してくれる方をお待ちしています！



捧 柺 弥

Masaya Sasage

📍 十和地域振興局 🏠 四万十の風土を活かした農業の展開

農業 2 年目に突入！

皆

さんこんにちは。梅雨も明け、本格的な夏を迎えましたが、いかがお過ごしでしょうか。私は、夏の暑さにバテ気味で熱中症に気を付けながら畑作業をしております。

農業研修でお世話になっている、しまんと流域野菜さんでは、ニンジン芋の植え付けが完了し、4月〜5月に定植したカボチャの収穫をしております。去年のカボチャとは品種が違い『恋するマロン』という品種を栽培しました。

この『恋するマロン』という品種は、大玉になる品種であり市場には出回っていないと言います。収穫した中で最も大きかったカボチャのサイズは、何と約3.7kg！



大量のカボチャが収穫できました！



約 3.7kg の特大カボチャです

他の品種のカボチャと比べものにならないくらい大きかったです。名前にマロン(栗)とつくくらいなので、きつと美味しいはずと期待して食べてみると、とても甘くてという感じでした。美味しかったです。昨年、初めて農業に携わり1年半が経とうとしています。そして、カボチャの栽培経験は今年で2年目になりました。何となくではあります。今年は自分の成長を実感しながら、カボチャの栽培ができたと思います。しかし、農業は奥が深いもので天候や土質等で、生育状況が変わっていくので日々勉強することが多く充実した毎日を送っております。

まだまだ厳しい暑さが続きますが、この夏を乗り切りましょう！



四万十町の ココがスキ!

みんなのお気に入りをご紹介します!



196のコーヒースペース

196は十和にあるキャンプ用品を販売するお店で、コーヒーも販売されています。天気の良い日にここに座り、景色を眺めながら飲むコーヒーは最高の癒しです。(井上佳奈)



四万十川と、川舟と私。

梅雨の時期はうなぎのエサとなるミズヤカントロウが多くいるため、ほぼ毎日のように川舟に乗って漁をしていました。風を感じて舟から見る景色は、いつもとは違った美しさがあり、とても癒されます。(中下美和)



四万十町の大自然

ドライブ中にふと、外の森を見ているとそこには一匹の鹿がいました。四万十町が自然豊かで、良い環境が整っている証拠だと実感しました。改めてこの町に来てよかったと思う、今日この頃です。(捧 柺 弥)

編集後記

梅雨が明けて、夏真っ盛りの四万十町。昨年に引き続き、今年も夏祭りや花火大会はあまり開催されなさそうで寂しい限りです…。着任した頃は、8月9日は毎週のように地域のお祭りのお手伝いに行っていたのが懐かしく感じます。

子どもたちも夏休みに入り、家族や友人と海や川に遊びに行く方も多いのではないのでしょうか。マスクをしていると喉の渇きを感じにくくなるそうです。熱中症には十分気をつけてお過ごしくださいね。

(編集：吉岡 亜紀)



四万十町地域おこし協力隊の活動は ホームページ、SNSにて発信中！

協力隊公式HP



Facebook



窪川



大正



十和

Instagram



四万十町では現在18名の協力隊が活躍しています。

協力隊へのご連絡はこちらまで



四万十町役場 にぎわい創出課

四万十町琴平町16番17号(西庁舎2F)
Mail: 103050@town.shimanto.lg.jp Tel: 0880-22-3281